

令和6年度 東京都内湾水生生物調査 2月鳥類調査 速報

●実施状況

令和7年2月14日に鳥類調査を実施した。調査当日は大潮で、干潮が12:11(65cm)、満潮は06:18(179cm)であった(気象庁のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚(東なぎさ)	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
調査時刻	8:59-10:37	11:17-12:15	12:41-14:08
調査時間(分)	98	58	87
天候	晴	晴	晴
気温(℃)	8.2	12.1	13.2
風向	北西	-	南
風速(m/sec)	1.8	無	1.5
備考	干潟は広く干出。	干潟は広く干出。	第六台場～鳥の島の間はうねりが大きかった。

●主な出現種等

	葛西人工渚(東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
数が多かった 鳥類上位3種	カンムリカイツブリ(7014羽) カワウ(5847羽) スズガモ(2451羽)	コガモ(137羽) オオバン(42羽) ハクセキレイ(31羽)	カワウ(2075羽) スズガモ(578羽) ユリカモメ(87羽)
備考	・クロツラヘラサギ、シロチドリ、メダイチドリ、ハマシギ、ズグロカモメ、ミサゴ等、重要種として16種を確認。 ・干潟でシロチドリ、メダイチドリ、ハマシギが採餌、ヨシ原付近でタシギが休息。ユリカモメ、ズグロカモメ、カモメが採餌、セグロカモメが休息。カワウの群れが飛来し休息。 ・上空をミサゴ、トビ、ノスリが飛翔。 ・東なぎさの護岸でクロツラヘラサギ3羽、ウミウ3羽が休息。 ・ヨシ原でクイナの鳴き声が聞かれた。 ・海上でスズガモとカンムリカイツブリ、ハジロカイツブリの群れとアカエリカイツブリ1羽が休息。	・ミサゴ等、重要種として5種を確認。 ・干潟を利用する鳥はほとんど見られず、ユリカモメの小群が飛来し、休息したのみ。 ・カモ類はオカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロの7種を確認。 ・カンムリカイツブリが水面で休息。 ・ミサゴが上空を飛翔。 ・護岸にハクセキレイが多く、合計31羽が見られた。ほかにイソシギが採餌。	・オオバン、ノスリ等、重要種として10種を確認。 ・第六台場と鳥の島でカワウが営巣中。巣内でヒナや巣立った幼鳥が見られた。第六台場で988巣、鳥の島で381巣を確認。アオサギは38羽を確認。 ・カモ類はマガモ、カルガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、スズガモ、ウミアイサの6種と雑種1羽を確認。 ・海浜公園側で屋形船が運航。船の周りに多数のユリカモメが集まる。ほかにウミネコ、カモメ、セグロカモメを確認。 ・トビとノスリが飛翔。

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	令和7年								重要種 選定基準			
				葛西人工渚(東なぎさ)			森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園				文化財 保護法	種の*1 保存法	環境省*2 RL2020	東京都*3 RDB2023 (区部)
				範囲 内	沖合	合計		第六 台場	鳥 の 島	公 園 側	合計				
1	カモ	カモ	オカヨシガモ				7								
2			ヒドリガモ				10								
3			マガモ					2			2				
4			カルガモ				4			2	2				
5			ハンビロガモ				6			2	2				
6			オナガガモ	2		2	8								
7			コガモ				137								
8			ホシハジロ	2		2	4			3	3				VU
9			スズガモ	1562	889	2451			1	577	578				留
10			スズガモ×キンクロハジロ雑種							1	1				
11			ウミアイサ						2		2				DD
12	カイツブリ	カイツブリ	アカエリカイツブリ		1	1									NT
13			カンムリカイツブリ	2604	4410	7014	1		2	2	4				留
14			ハジロカイツブリ	2	150	152				5	5				NT
15	カツオドリ	ウ	カワウ	5847		5847	9	1408	667		2075				
16			ウミウ	3		3									
17	ペリカン	サギ	アオサギ	5		5	5	28	10		38				
18			コサギ	1		1									VU
19		トキ	クロツラヘラサギ	3		3							国内	EN	CR
20	ツル	クイナ	クイナ	1		1									DD
21			オオバン				42			15	15				CR
22	チドリ	チドリ	シロチドリ	54		54								VU	CR
23			メダイチドリ	1		1							国際		VU
24		シギ	タシギ	2		2									VU
25			イソシギ				3	1	5	1	7				VU
26			ハマシギ	5		5								NT	VU
27		カモメ	ユリカモメ	2		2	30		87		87				
28			ズグロカモメ	1		1								VU	
29			ウミネコ							1	1				留
30			カモメ	1		1				2	2				
31			セグロカモメ	10		10	1	1	1		2				
32	タカ	ミサゴ	ミサゴ	2		2	1							NT	EN
33		タカ	トビ	3		3		13	1		14				NT
34			ノスリ	1		1		1			1				CR
35	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	4		4	31	3	3	4	10				
			タヒバリ				2		6	1	7				
計8目12科35種				23 種	4 種	24 種	17 種	8 種	11 種	12 種	20 種	0 種	2 種	5 種	19 種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会, 2012)に従った。

*1 文化財保護法：特天=特別天然記念物

*2 種の保存法：国際=国際希少野生動植物種、国内=国内希少野生動植物種

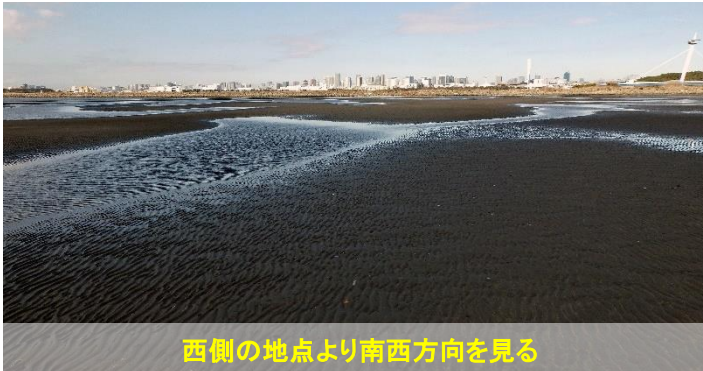
*3 環境省レッドリスト2020：CR=絶滅危惧ⅠA類、EN=絶滅危惧ⅠB類、VU=絶滅危惧Ⅱ類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足

*4 東京都レッドデータブック2023(区部)2023年版：CR=絶滅危惧ⅠA類、EN=絶滅危惧ⅠB類、VU=絶滅危惧Ⅱ類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足、留=留意種

<葛西人工渚(東なぎさ)>

○調査地点の状況

干潟は広く干出していた。



○出現種(シギ・チドリ類)

シロチドリ、メダイチドリ、ハマシギが干潟で採餌、タシギがヨシ原付近で休息していた。シロチドリは環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)、メダイチドリは種の保存法で国際希少野生動植物種、東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、タシギは東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、ハマシギは環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種(クロツラヘラサギ、ウミウ)

クロツラヘラサギ 3羽が東なぎさの消波ブロックで休息していた。本種は種の保存法で国内希少野生動植物種、環境省レッドリストで絶滅危惧ⅠB類(EN)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されている。また、同じ場所でウミウ 3羽も休息していた。



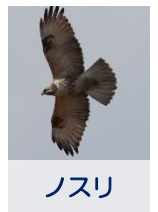
○干潟利用状況

カワウの群れが飛来し、5810羽が干潟で休息した。シギ・チドリ類が採餌していたほか、ユリカモメ、ズグロカモメ、カモメが採餌、セグロカモメが休息していた。ズグロカモメは環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種(猛禽類)

東なぎさ上空でミサゴ、トビ、ノスリが確認された。ミサゴは環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠB類(EN)、トビは東京都レッドデータブックで準絶滅危惧(NT)、ノスリは東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されている。



○海面の状況

スズガモ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリの群れが範囲内から沖合にかけて見られた。範囲内の個体数はスズガモ 1562羽、カンムリカイツブリ 2604羽、ハジロカイツブリ 2羽であった。また、沖合でアカエリカイツブリ 1羽が見られた。東京都レッドデータブックでアカエリカイツブリとハジロカイツブリは準絶滅危惧(NT)、スズガモとカンムリカイツブリは留意種に指定されている。



＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

最大干潮時刻で、干潟は広く干出した。



○出現種(カモ類)

オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロの 7 種が確認された。カモ類は主に調査地北東側の京浜島付近と南西側の護岸、南側の海老取川付近に集まり、採餌、休息する様子が見られた。ホシハジロは東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



オカヨシガモ



ヒドリガモ



カルガモ



ハシビロガモ



オナガガモ



コガモ



ホシハジロ

○出現種(オオバン)

カモ類と同様の場所で泳ぎながら採餌していた。本種は東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されている。



○出現種(イソシギ)

護岸で 3 羽が確認された。本種は東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種(カンムリカイツブリ)

水面に浮かぶ 1 羽が確認された。すでに夏羽に移行中で、頭部に飾り羽が見られた。



○出現種(セキレイ類)

森ヶ崎水再生センター側の護岸で採餌するハクセキレイ 31 羽とタヒバリ 2 羽が観察された。



ハクセキレイ

タヒバリ

○干潟利用状況

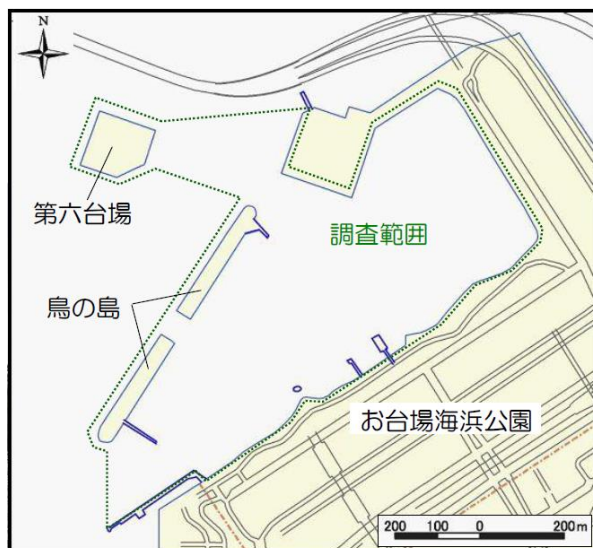
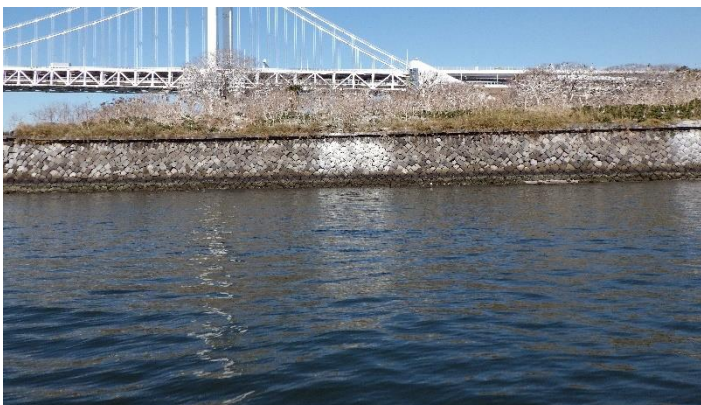
調査終了間際にユリカモメ 17 羽の群れが飛来し休息を始めた以外、干潟に鳥は見られなかった。



<お台場海浜公園>

○調査地点の状況

第六台場・鳥の島でカワウが多数営巣していた。



○出現種(カワウ)

カワウが抱卵・^{いくすう}育雛中で、第六台場で 988 巣、鳥の島で 381 巣、合計 1369 巣が確認された。営巣数は平成 30 年度以降で最多である。営巣地ではヒナの鳴き声が聞かれ、巣内にヒナの姿が確認されたほか、付近に巣立った幼鳥が多く見られた。一方で、巣材を運び、造巢中と考えられる成鳥も確認された。



樹上の巣



幼鳥



巣材を運ぶ成鳥

○出現種(アオサギ)

アオサギは第六台場で 28 羽、鳥の島で 10 羽、合計 38 羽が確認された。嘴に橙赤色の婚姻色が出ている個体も確認されたが、営巣に関わる行動は見られなかった。



○出現種(カモ類)

マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、スズガモ、ウミアイサの 6 種と、スズガモとキンクロハジロの雑種(トピックス参照)が確認された。マガモは第六台場、ほかの種は鳥の島からお台場海浜公園にかけての海上で見られた。スズガモがもっとも多く、578 羽が休息していた。ウミアイサは東京都レッドデータブックで情報不足(DD)に指定されている。



○出現種(カモメ類)

ユリカモメ、ウミネコ、カモメ、セグロカモメの 4 種が確認された。ユリカモメは屋形船や人工海浜で給餌に集まっている状況が見られた。ウミネコは東京都レッドデータブックで留意種に指定されている。



<その他>

○ウミネコの繁殖

砂町運河でウミネコ 16 羽が見られたが、営巣は始まっていなかった。付近の海上ではヒドリガモ 9 羽、ホシハジロ 1 羽、京葉線の高架下でカワウ 274 羽が確認された。



ウミネコが営巣する構造物



ウミネコ



カワウ

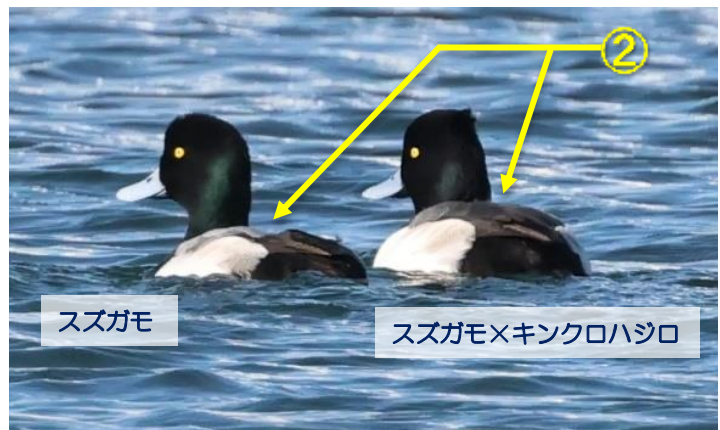
<トピックス>

-スズガモとキンクロハジロの雑種-

お台場海浜公園でスズガモの群れの中に写真の個体が 1 羽確認された。スズガモ雄によく似て大きさも同程度であるが、後頭部に小さな冠羽があり(①)、体上面がスズガモより暗色であった(②)。冠羽と体上面の羽色はキンクロハジロの特徴を示唆しており、この個体はスズガモとキンクロハジロの雑種と考えられる。



スズガモ×キンクロハジロ



スズガモ

スズガモ×キンクロハジロ



スズガモ×キンクロハジロ (ほかはスズガモ)



スズガモ

キンクロハジロ